

(R7) 竹松駐屯地外柵補修工事

件名	(R7) 竹松駐屯地外柵補修工事			図番号	1 / 4
図名	表紙			縮尺	
業務隊長	管理科長	営繕班長	執行・電気・給排水・営繕主任・工事企画・管財	設計者	
了	了	了	了	了	
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班				令和 7年 9月30日	

仕 様 書

1 工事件名：(R7)竹松駐屯地外柵補修工事

2 工事場所：長崎県大村市富の原 1-1000 陸上自衛隊竹松駐屯地

3 工事概要：本工事は駐屯地外柵の張り替えを実施する。

項 目	工 種	数量(設計)		備 考
土 木 工 事	防衛省タイプフェンス新設	143.00	m	H=1800mm曲忍付き(菱形金網)
	V形鋼立入防止柵撤去	147.00	m	H=1800mm曲忍付き(菱形金網)
	付帯測量・遣り方	1.00	式	

4 一般共通事項

- (1) 本工事の施工は、関係諸法令、条例等を遵守するものとし、本仕様書による他、設計図、防衛省整備計画局制定土木工事共通仕様書の定めるところに従い誠実にを行うものとする。
- (2) 本仕様書及び設計図書に記載なき事項については監督官と調整し、当然実施すべき事項は、請負者の負担において実施するものとする。また、作業上軽微なもので当然必要と思われる事項についても同様とする。
- (3) 本仕様書及び作業に際し、疑義が生じた場合は監督官と協議したのち、実施するものとする。
- (4) 請負者は着工に先立ち、施工に必要な施工計画書等監督官指示する書類を作成、提出し承諾を受けた後施工すること。
- (5) 施工中の安全確保には十分に留意して現場管理を行うと共に、火災等の災害及び事故に注意する。また、必要に応じて養生等の処置を行うものとする。万一事故が発生した場合の補償については全て請負者の責任において処置し、官側は一切の責任を負わないものとする。
- (6) 本工事に伴う駐屯地及び各建物への立入り、その他制限事項は当該駐屯地の諸規定に従うこととし、その都度監督官から指示する。
- (7) 隊員もしくは部外者等に損害を与えた場合、又は施設等を破損した場合で、その原因が本工事に関わると認められた場合、請負業者が補償及び賠償の責を負うものとする。
- (8) 本工事の完成に際しては、当該工事に関する箇所の清掃及び片付けを実施する。
- (9) 本工事の写真はカラーとし、施工前、施工中、完了、主要な工事段階毎、隠蔽となる箇所、全ての使用材料及び監督官の指示する箇所を撮影し、工所用アルバム（A列4番）に整理し、監督官に提出するものとする。なお、写真データは工事完了後、確実に破棄するものとする
- (10) 本工事により発生した産業廃棄物（基礎ブロック）は、請負者の責任において駐屯地外へ搬出し、法令に従い適切に処分するものとする。また、金属類等の発生材は2～3m程度に切断・折り重ね、重量を測定の上、駐屯地内の監督官が指示する場所に集積し、発生材調書を提出するものとする。
- (11) 本工事に必要な電気及び水は請負者が負担するものとする。なお、官側の電気及び水を使用する場合は監督官の承認後、請負者の負担で計量器を設置し、後日官側の請求に応じるものとする。

5 特記事項

- (1) 本工事着工に際し事前に工程表を作成し、監督官と協議したのち着工する。
- (2) 本工事の作業時間は平日0830から1700を基準とする。また、張替作業着手から完成までの期間を最小限に努めるものとする。

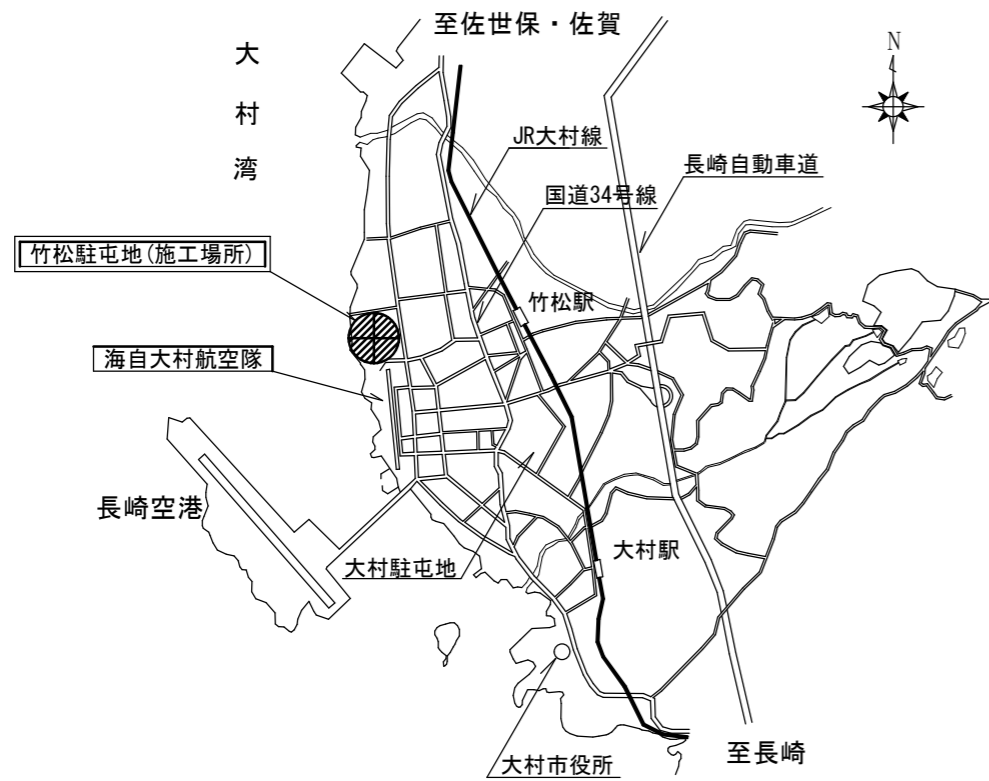
- (3) 工事箇所への立ち入りは防衛省敷地内からのみとし、隣接する民有地には立ち入らないものとする。
- (4) 図面の寸法は標準寸法であり、施工前に現地調査及び採寸を実施するものとする。
- (5) 使用する材料等はすべて新品とし、承認図、カタログ等をもって事前に監督官の承認を得るものとする。
- (6) 工事で発生した残土は、場内敷き均しとする。
- (7) 工事箇所（地域）は平坦かつ土質はレキ質土である。
- (8) 工事期間中の侵入防止処置は官側が準備する。
- (9) フェンス取替作業は50m程度ずつ3分割工程により実施する。（一斉撤去・新設は認めない。）

6 提出書類

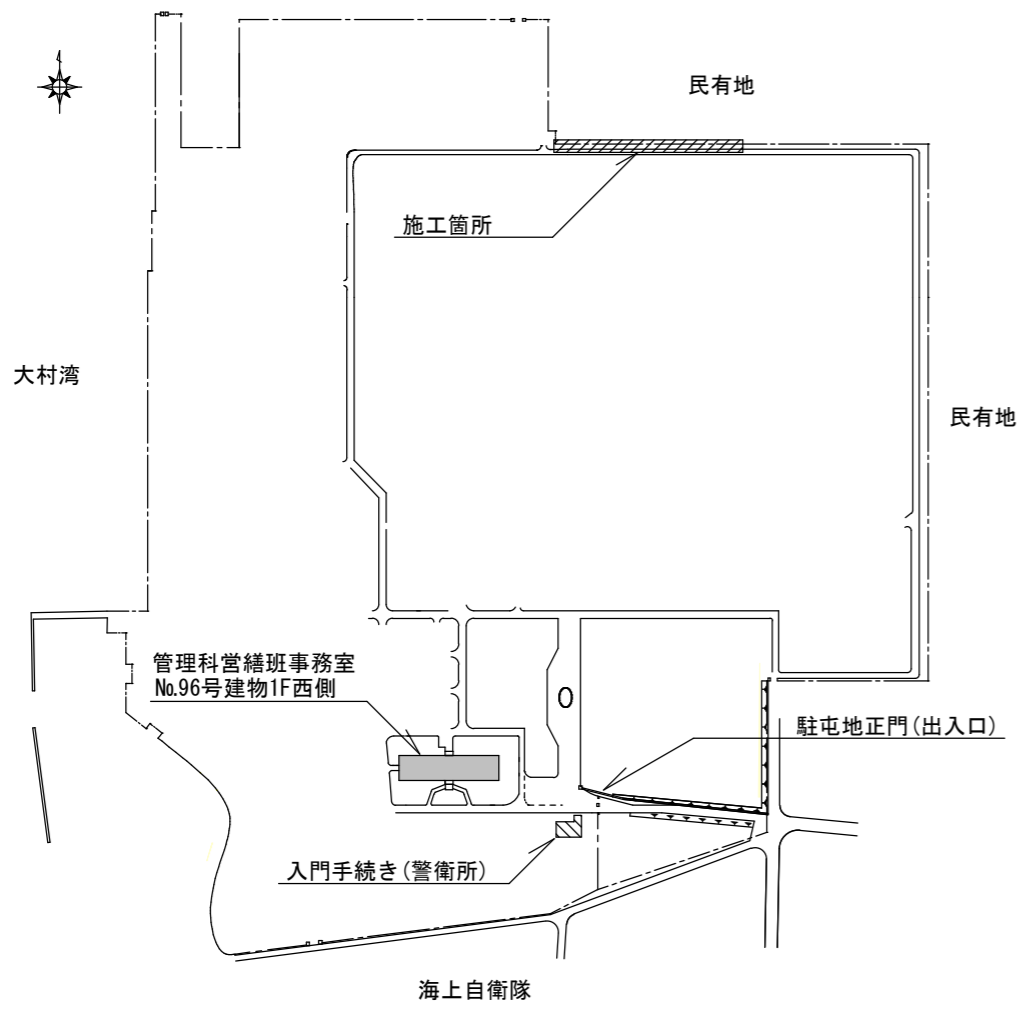
- (1) 工事着工届
- (2) 工事工程表
- (3) 現場代理人等通知書
- (4) 施工図、カタログ、承認図等
- (5) 工事竣工届、完成検査願
- (6) 各種材料の出荷証明書
- (7) 材料検査簿
- (8) 工事日誌
- (9) 工事写真帳
- (10) 発生材報告書
- (11) 工事打合せ簿（必要とする場合）

※(1)(5)(7)(10)(11)については事前に監督官から様式を示す。

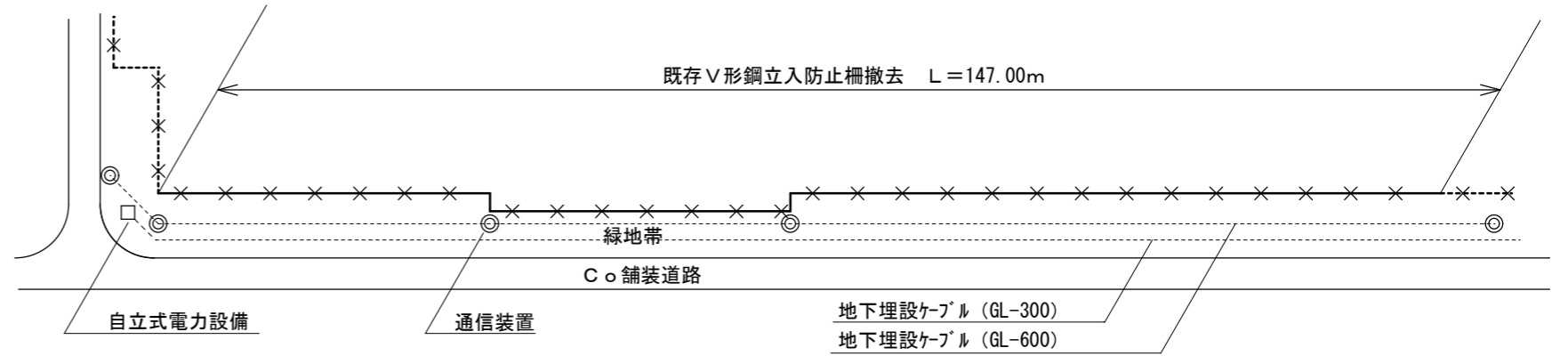
件 名	(R7)竹松駐屯地外柵補修工事	図 面 番 号	2 / 4
図 名	仕 様 書	縮 尺	
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班		令和 7年 9月30日	



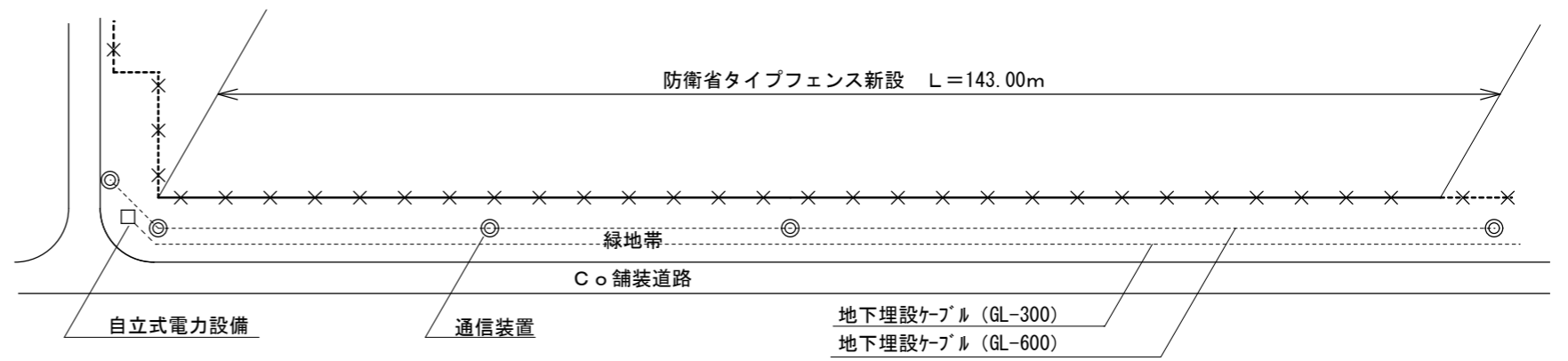
駐屯地案内図 S=1 : X



駐屯地配置図 S=1 : 6,000



施工範囲配置図(撤去) S=1 : 750



施工範囲配置図(新設) S=1 : 750



施工場所現況写真①



施工場所現況写真②



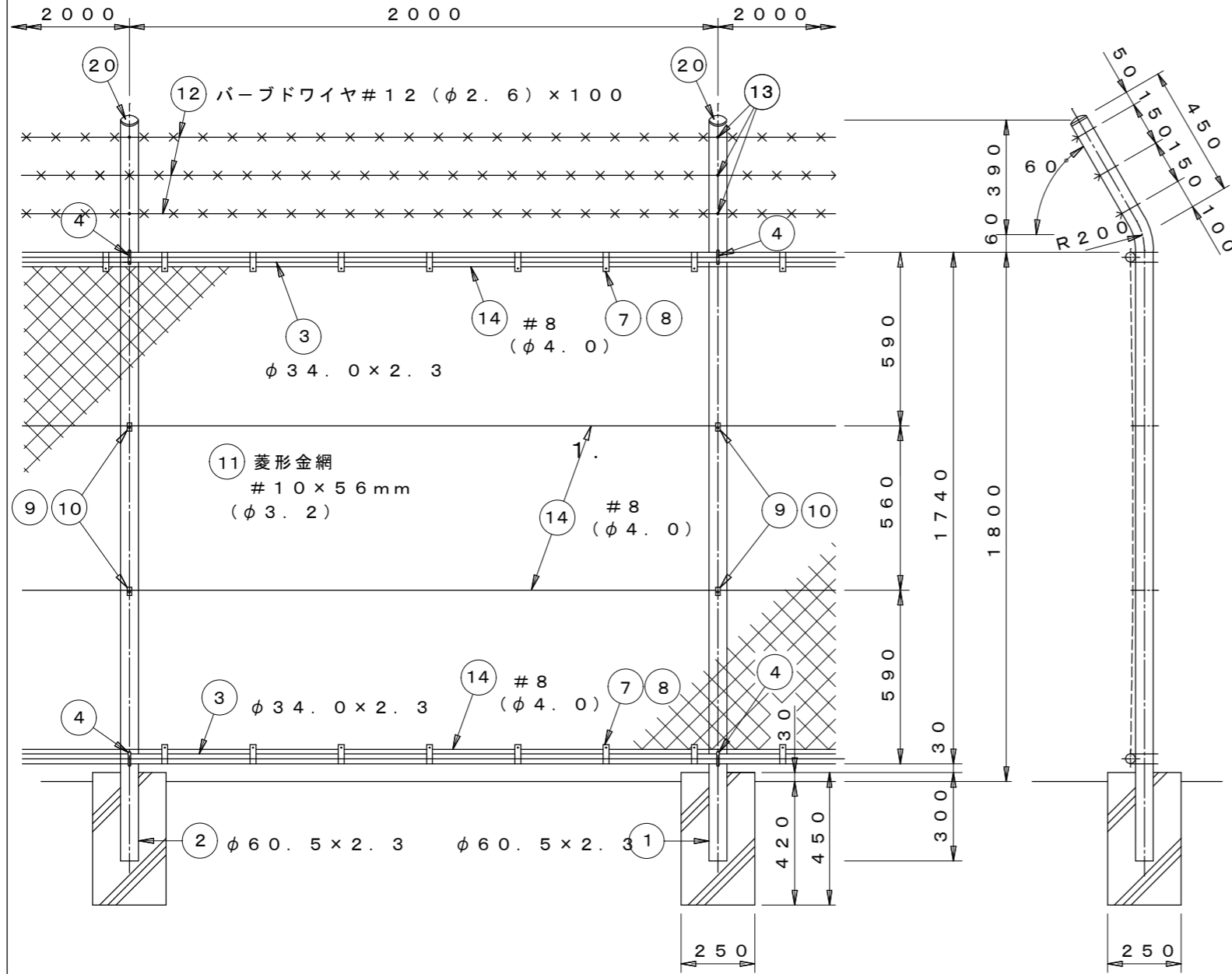
施工場所現況写真③

※撤去外柵規格
主柱：V形鋼（高さ1800mm・曲忍付き・主柱間隔2,000mm）
胴縁：L形鋼（40mm×40mm上下段共）
菱形金網：JIS G3547 線径3.2mm×56mm
基礎ブロック：W200mm×D200mm×H450mm
バーブワイヤ：線径2.6mm×100（3段）

件名	(R7) 竹松駐屯地外柵補修工事	図番号	3 / 4
図名	案内図・配置図・現況写真	縮尺	図示
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班		令和 7年 9月30日	

防衛省タイプフェンス H1800 曲忍付 S=1/20

[第1種地域用]



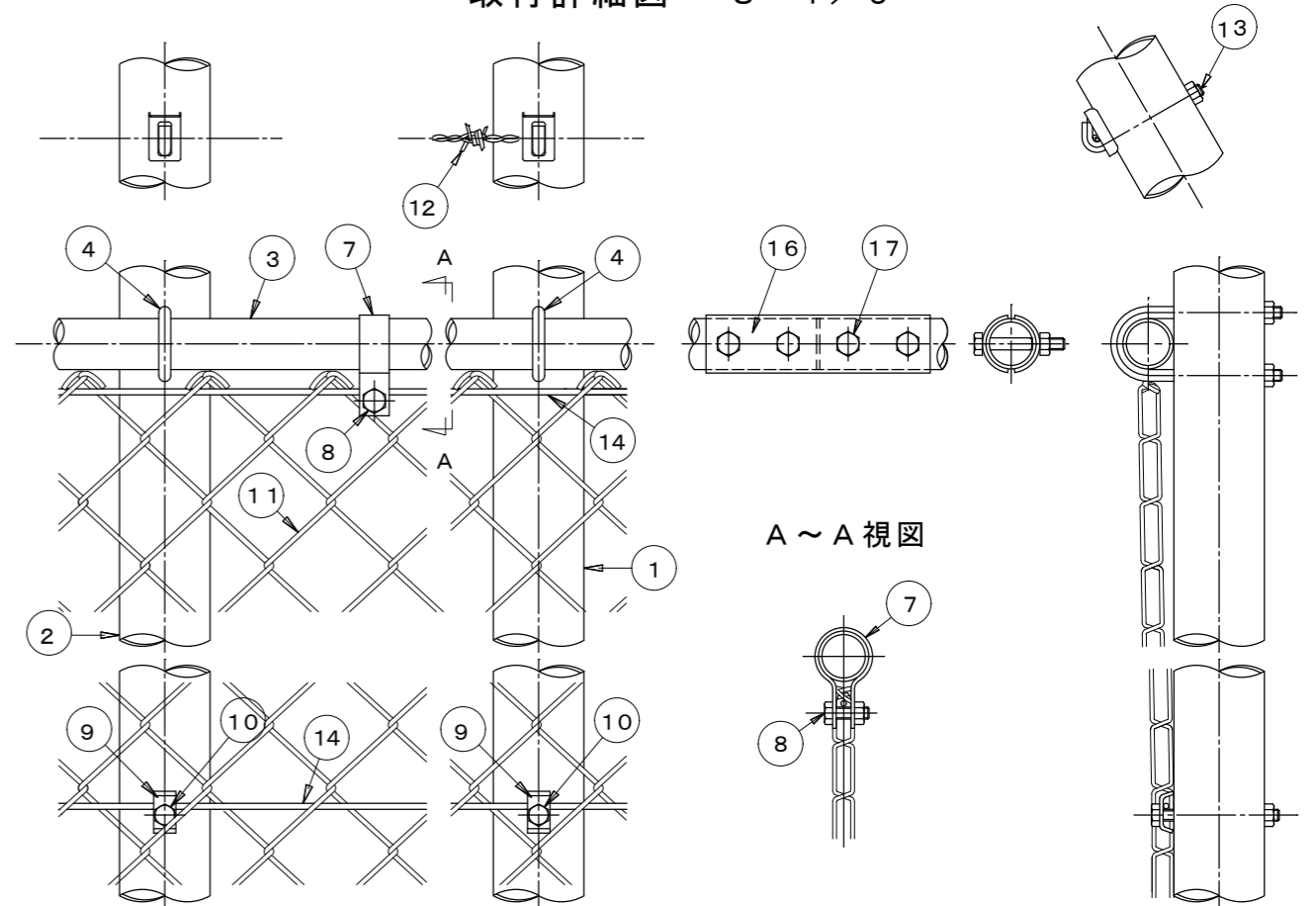
備考

胴縁継手位置は、スパン中央を避けてできるかぎり主柱付近とする。

防衛省タイプフェンス H1800 曲忍付 材料表

番号	名称	規格	材質	外装	備考
				タイプB	
1	中間主柱	φ60.5×2.3	STK400	HDZT77	
2	端末主柱	"	"	"	
3	胴縁	φ34.0×2.3	"	"	
4	胴縁取付Uボルト	M8	ボルト4.8、ナット5	HDZT49	
7	金網取付バンド	t=2.3	SS400	"	
8	同上止めボルト・ナット	M8×25	ボルト4.8、ナット5	"	
9	金網止め金具	t=2.3	SS400	"	
10	同上止めボルト・ナット	M8×80	ボルト4.8、ナット5	"	
11	菱形金網	#10(φ3.2)×56mm	Z-GS7	JISに依る	
12	パードワイヤ	#12(φ2.6)×100	BWGS-7	"	
13	フックボルト	M8	ボルト4.8、ナット5	HDZT49	フック座金付
14	横力骨線	#8(φ4.0)	SWMGS-7	JISに依る	
15					
16	胴縁継手	t=2.3	SS400	HDZT35	
17	ボルト・ナット	M8×55	ボルト4.8、ナット5	"	
20	主柱キャップ	t=2.3	SPHC	"	
21					

取付詳細図 S=1/5



件名	(R7)竹松駐屯地外柵補修工事	図番号	4/4
図名	フェンス姿図・材料表・取付詳細図	縮尺	図示
陸上自衛隊竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班		令和 7年 9月30日	